



Point of Study

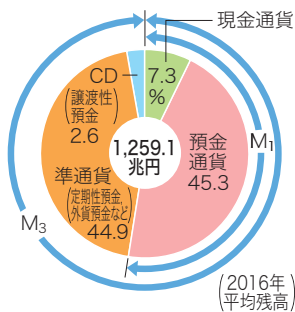
経済活動における資金の流れとはどのようなものか。また、直接金融と間接金融の違いは何だろうか。

①貨幣には、財やサービスの交換の仲立ちとしての**交換手段**、商品の価値の基準としての**価値尺度**、債務の決済などの**支払手段**、価値を保持する**価値貯蔵手段**という4つの機能がある。

②企業が資金を調達するために発行する**債券**(有価証券)。一種の借金であり、一定期日までに返済する義務がある。また、国や自治体が発行する債券を**公債**という。

*1 マネーストック

金融部門から供給される通貨総量であり、家計や企業などが保有する通貨残高を総計したものをM₁、M₁に定期性預金やCD(譲渡性預金)などを加えたものをM₃という。M₂はM₃からゆうちょ銀行の定期性預金などをのぞいたもので、従来のマネーサプライ統計のM₂+CDにほぼ対応する。



②マネーストックの内訳 現在日本で流通している現金通貨は、日本銀行が発行する紙幣(日本銀行券)と政府が発行する硬貨(補助貨幣)がある。また預金通貨には、いつでも引き出しが可能な普通預金と、小切手による支払手段に利用される当座預金がある。日本銀行資料による。

6 金融の役割

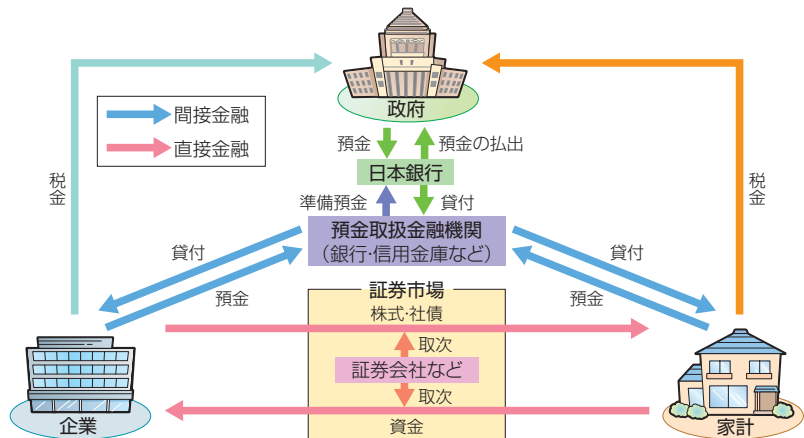
金融とは

わたしたちは、財やサービスの対価として貨幣(通貨)を払うだけではなく、銀行預金や株式投資などの貯蓄をおこなっている。一方、企業は、株式や社債を発行して資金を集めるか、銀行などの金融機関から借り入れるなどして、必要な資金を調達している。このように、資金に余裕のある経済主体と、資金を必要としている経済主体が、資金を融通しあうことを**金融**という。資金を仲介する金融機関には、銀行のほか証券会社や保険会社、貸し付け業務だけをおこなう消費者金融や信販会社などのノンバンクがある。

金融市場……資金の貸し手と借り手の間で取引がおこなわれるのが**金融市場**である。1年未満の資金取引は**短期金融市場**、1年以上の資金取引は**長期金融市場**でおこなわれる。金融機関どうしが、短期的に資金の過不足を融通しあう**コール市場**などは短期金融市場、**証券市場**(株式市場や公社債市場)は長期金融市場である。資金の需要と供給は、**利子率**の変動を通じて調整される。

銀行と信用創造

代表的な金融機関である銀行は、集めた預金の一部を**支払準備**として残し、あとは資金を必要としている家計や企業に、利子をとって貸し出す(融資)。融資された資金も、ただちに使われるのではなく、多くの場合いったん銀行に預けられる。銀行は、その預金をもとにさらに融資をおこなう。その結果、銀行はその信用によって最初に預けられた預金の何倍もの融資をおこなうことができる。これを銀行の**信用創造**(**預金創造**)といい、社会全体の通貨量(**マネーストック**)を増やす働きをする。



金融の循環



金融機関が破綻した場合、預金保険機構(→p.99)が預金者に一定額の払い戻しをおこなう制度。上限額は、預金元本1,000万円とその利子。2005年の全面解禁で、それまで凍結されていた普通預金も対象となっている。

**間接金融と
直接金融**

融資は銀行などの金融機関が間にはいっておこなわれるので、こうした金融を**間接金融**という。これに対して、企業が株式や社債を発行し、証券市場で個人や企業から直接に資金調達をおこなうことを**直接金融**という。日本

では、これまで間接金融が中心だったが、経済のグローバル化や金融制度の変化を受けて、最近では、直接金融の割合が高まっている。証券市場では、業績のよいすぐれた企業に多くの資金が集まり、経済の効率性が高まると考えられている。しかし、株価は業績以外の要因でも変化する。株価の極端な変動は、株式市場を企業の実態

**金融の自由化と
国際化**

日本の金融制度は、欧米に比べて規制がきびしいとされてきた。しかし、**金融の国際化**などを背景に、日本でも**金利の自由化**や、銀行と証券・保険会社の業務の相互参入など、金融の自由化が進められた。1990年代後半からは、金融の国際競争力を強化するため、**日本版金融ビッグバン**が実施され、国際金融取引の自由化などいっそうの規制緩和が進められた。

金融取引は、いまや巨額の規模に達している。金融の発展は経済をささえる大きな要因であるが、金融制度が高度に複雑化してくると、金融市場の混乱が、経済全体を大きく混乱させることもある。こんにち、金融のあるべき姿が問われているといえよう。

③株式で集めた資金は企業の**自己資本**になるが、社債の発行や借り入れて集めた資金は、**他人資本**であり、元本の返済や金利負担が必要となる。

④船団がもっとも遅い船に速度をあわせるように、弱小の金融機関でも破綻しないようにする競争規則を、**護送船団方式**とよぶ。

⑤フリー(自由化)・フェア(公正さ)・グローバル(国際化)の理念のもとでおこなわれた。競争が激化し、銀行間の合併・吸収がくりかえされるなど、金融界は大きく様変わりした。

⑥個々の投資家にかわり、投資家から集めた資金を投資信託会社が運用し、運用利益を投資家に分配するしくみを**投資信託**という。



信用創造とは？

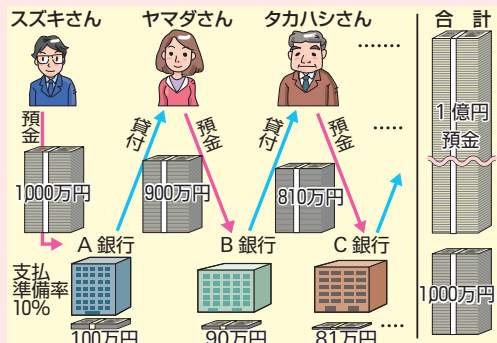
サキ ●マネーストックのなかで、預金が現金よりずっと多くなっているのはなぜですか？

先生 ●スズキさんが現金1,000万円をA銀行に預けたとしましょう。支払準備率を10%とすると、A銀行は支払準備金100万円をのぞいた900万円を融資に使える。これをヤマダさんが借りてB銀行に預けたとする。B銀行は支払準備金をのぞいた810万円をタカハシさんに貸し、タカハシさんはこれをC銀行に預けたとする。預金総額はいくらになるでしょう？

サキ ●全部で2,710万円です。

先生 ●そうですね。預金は、最初の1,000万円からずっと多くなっている。差額の1,710万円は銀行の信用創造でつくられた預金通貨なの。

融資はこのあとも続くから、理論的には下の図のようになります。



信用創造のしくみ 最初の預金額の1/支払準備率倍、すなわち10倍(1億円)まで預金を増やすことができる。したがって最初の預金額をのぞく9,000万円が信用創造されたことになる。

信用創造のしくみ